

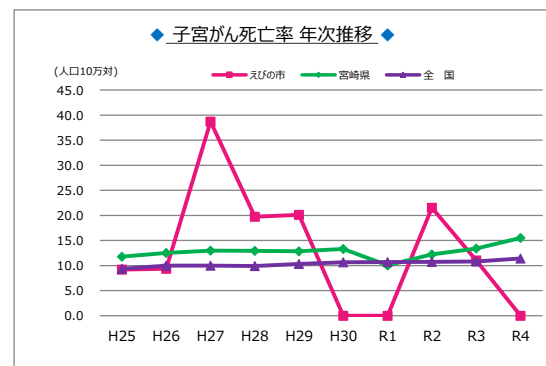
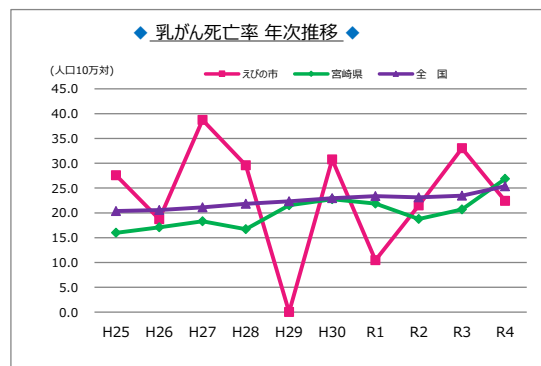
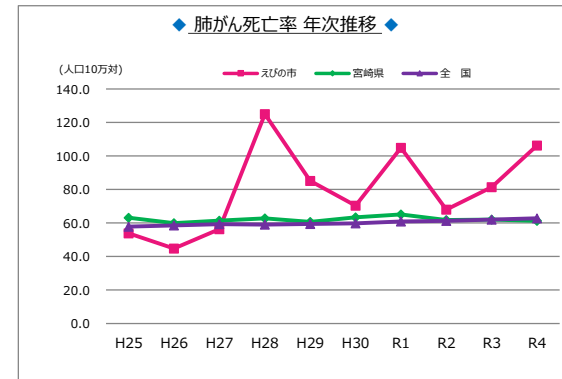
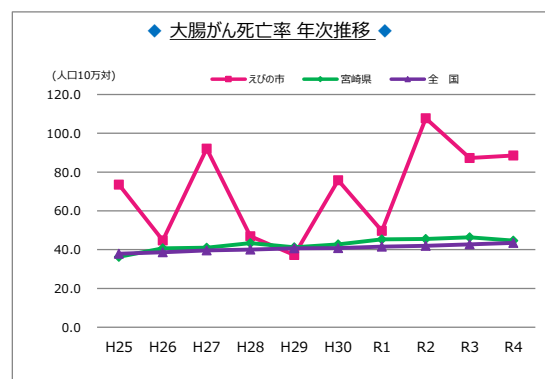
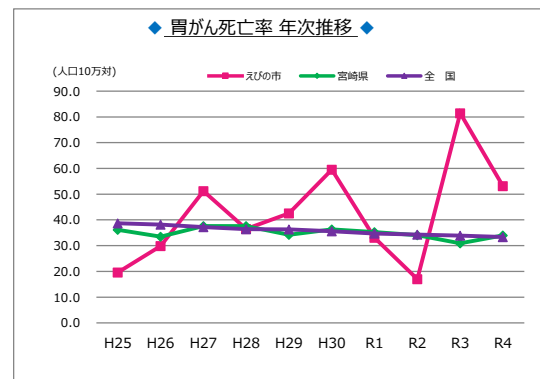
えびの市 のがんの統計

1. 各がん死亡数・死亡率（人口10万対） 年次推移

		H25		H26		H27		H28		H29		H30		R1		R2		R3		R4	
		死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
胃がん	えびの市	4	19.6	6	29.9	10	51.2	7	36.5	8	42.5	11	59.5	6	33.1	3	17.0	14	81.4	9	53.2
	宮崎県	405	36.1	373	33.5	415	37.6	412	37.6	372	34.2	392	36.3	378	35.3	364	34.0	328	30.9	357	34.0
	全 国	48,632	38.7	47,903	38.2	46,679	37.2	45,531	36.4	45,226	36.3	44,192	35.6	42,931	34.7	42,319	34.3	41,624	33.9	40,711	33.4
大腸がん	えびの市	15	73.5	9	44.8	18	92.1	9	46.9	7	37.2	14	75.8	9	49.7	19	107.7	15	87.3	15	88.6
	宮崎県	407	36.3	454	40.7	453	41.0	475	43.3	449	41.3	461	42.7	485	45.3	487	45.5	492	46.4	470	44.7
	全 国	47,654	37.9	48,485	38.7	49,699	39.7	50,099	40.1	50,681	40.7	50,658	40.8	51,420	41.6	51,788	42.0	52,418	42.7	53,088	43.5
肺がん	えびの市	11	53.9	9	44.8	11	56.3	24	125.0	16	85.1	13	70.4	19	104.8	12	68.0	14	81.4	18	106.3
	宮崎県	708	63.2	668	59.9	678	61.4	688	62.8	660	60.7	684	63.3	698	65.1	661	61.8	658	62.0	644	61.2
	全 国	72,734	57.9	73,396	58.5	74,378	59.4	73,838	59.1	74,120	59.5	74,328	59.8	75,394	60.9	75,585	61.3	76,212	62.1	76,663	62.8
乳がん※	えびの市	3	27.6	2	18.7	4	38.7	3	29.6	0	0.0	3	30.8	1	10.5	2	21.5	3	33.0	2	22.4
	宮崎県	95	16.0	101	17.1	107	18.3	97	16.7	124	21.5	130	22.7	124	21.9	106	18.8	116	20.7	149	26.9
	全 国	13,148	20.4	13,240	20.6	13,584	21.1	14,015	21.8	14,285	22.3	14,653	23.0	14,839	23.4	14,650	23.1	14,803	23.5	15,912	25.4
子宮がん	えびの市	1	9.2	1	9.4	4	38.7	2	19.7	2	20.1	0	0.0	0	0.0	2	21.5	1	11.0	0	0.0
	宮崎県	70	11.8	74	12.5	76	13.0	75	12.9	74	12.8	76	13.3	57	10.0	69	12.2	75	13.4	86	15.5
	全 国	6,033	9.4	6,429	10.0	6,429	10.0	6,345	9.9	6,611	10.3	6,800	10.7	6,804	10.7	6,808	10.7	6,818	10.8	7,157	11.4

※乳がんは女性のための資料

宮崎県健康づくり推進センター「健康づくりデータブック」より



年齢調整死亡率と年齢調整死亡率の基準人口について

年齢構成の異なる地域間では一般に高齢者が多いほど死亡率は高くなり、年齢構造の違いを考慮せずに死亡率による死亡状況の比較は単純にはできないため、年齢構成を調整した死亡率いわゆる年齢調整死亡率を用います。

年齢調整死亡率を用いることによって年齢構成の異なる集団について年齢構成の相違を気にすることなく正確に地域比較や年次比較をすることができます。

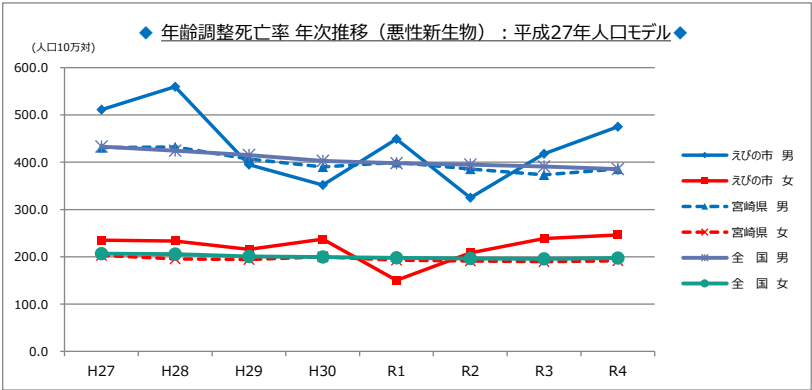
年齢調整死亡率の算定につきましては、昭和60年モデル人口を用いていましたが、厚生労働省が公表する2020年人口動態統計から平成27年（2015年）モデル人口に変更されております。

今後は、平成27年モデル人口を用いて更新しますので、昭和60年モデル人口の算定は令和3年までといたします。

2. 年齢調整死亡率【悪性新生物】（人口10万対）年次推移（基準人口：平成27年人口モデル）

	H25		H26		H27		H28		H29		H30		R1		R2		R3		R4	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
えびの市					510.9	235.1	559.6	233.3	395.0	215.7	351.8	237.5	449.0	150.3	324.8	208.1	417.7	238.8	474.8	246.1
宮崎県					430.8	203.0	432.2	195.6	406.6	194.0	390.1	199.9	399.7	193.0	385.7	191.0	373.3	189.7	385.7	191.4
全 国					433.0	206.6	424.4	205.6	415.1	200.7	402.9	199.6	397.8	197.6	394.7	196.4	390.8	195.5	385.4	197.4

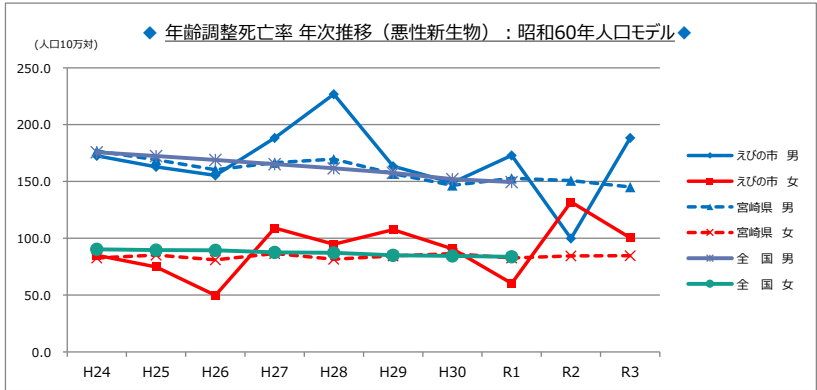
宮崎県健康づくり推進センター「健康づくりデータブック」より



3. 年齢調整死亡率【悪性新生物】（人口10万対）年次推移（基準人口：昭和60年人口モデル）

	H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30		R1		R2		R3	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
えびの市	172.6	85.1	162.9	74.8	155.3	49.8	188.3	109.1	226.8	94.7	163.4	107.6	149.0	90.8	173.0	60.4	99.8	132.0	188.3	100.4
宮崎県	176.8	82.7	169.1	85.2	160.3	81.0	166.5	86.6	169.7	81.6	156.9	84.5	146.6	86.6	152.8	82.6	150.8	84.4	145.2	84.7
全 国	175.7	90.3	172.5	89.7	168.9	89.4	165.3	87.7	161.7	87.3	157.5	85.0	152.1	84.5	149.5	83.7				

宮崎県健康づくり推進センター「健康づくりデータブック」より

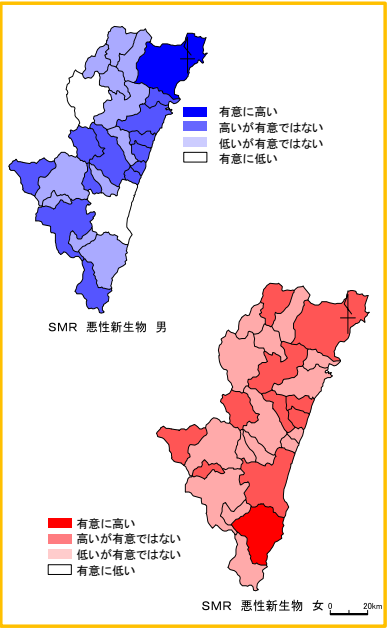
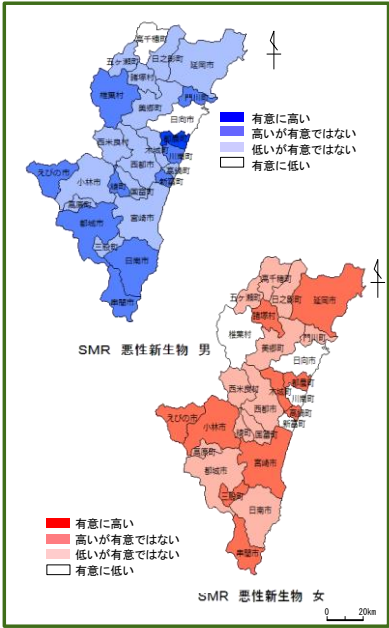


4. 標準化死亡比SMR（悪性新生物）

		平成27～29年				令和2～4年			
		死亡数	SMR	上限	下限	死亡数	SMR	上限	下限
えびの市	男	167	1.15	1.34	0.99	138	104.4	123.7	88.0
えびの市	女	112	1.08	1.30	0.89	111	116.2	140.5	96.0

【平成27～29年】

【令和2～4年】



市町村別主要死因別標準化死亡比（SMR）マップ

標準化死亡比(SMR)は対象者の性別、年齢構成が市町村によって異なるのを補正し、県全体の死亡率を基準にした比率です。しかし、人口規模の小さい地域では年単位の変動の幅が大きく比較に用いるのが適当でないこともあります。このため、3年間の死亡数による標準化死亡比(SMR)を算出し変動の幅を小さくし、地域がわかりやすいようにマップにしました。

標準化死亡比(SMR)の算定には、健康づくりデータブック（宮崎県健康づくり推進センターホームページ）の人口及び死亡数を利用し、地理情報分析支援システムMANDARAを用いてマップ化しました。

1. 標準化死亡比（SMR）算出方法

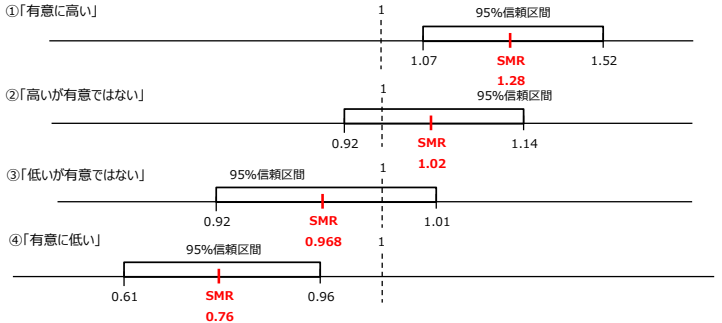
通常1年間の標準化死亡比

3年間の標準化死亡比
(当該市町村年齢階級別人口×県年齢階級別死亡率)の総和

3年間の当該市町村の実死亡数の総計
(3年間の当該市町村年齢階級別人口×3年間の県年齢階級別死亡率)の総和

2. 標準化死亡比(SMR)の推定

標準化死亡比(SMR)の95%信頼区間は、ポアソン分布を想定した係数を乗じて求めました。値の読み方については次のとおりです。



当該市町村の標準化死亡比(SMR)の95%信頼区間が1を含まない場合を有意と判定しています。

* 宮崎県健康づくり推進センター「データブック」男女別年齢階級別人口（市町村別）、主要死因死亡数・率・割合（市町村別）のR2・R3・R4のデータを基に算出。

* 標準化死亡比＝当該市町村の死亡数/（当該市町村の年齢階級別人口×宮崎県の年齢階級別死亡率）の総和×100（今回から単年度算出方法と合わせ、結果を見やすくするために100かけている。）

* 全年齢の死亡数が「0」の場合、標準化死亡比を「－」と記載。年齢階級は、5歳刻みで下限0歳、上限95歳一括とした。（「H27～H29」のデータまでは、上限85歳一括で算定）